

# 市長と語る新成人のつどい



1月11日の「成人の日」には約1,200人の若者が新しく大人の仲間入りをします。成人の日に先立ち、昨年11月2日に「市長と語る新成人のつどい」を開催しました。本道教育部長の進行のもと、新成人たちが市政について質問や提言などを、身近な話を交えながら、千代松市長、奥教育長と熱心に語り合いました。その一部を紹介します。

(敬称略・順不同)



問合せ 青少年課 (☎469-1106)

あなたがもし市長だったら、  
どういうことをしたいですか？

**村井** 高校の英語の教員志望なので、英語教育をより充実させたい。また、ふとん太鼓やだんじり祭りなどの地域の伝統行事をしっかりと未来につなげていきたい。

**田中** 関空が近いという利点を生かして、様々な国の人々を呼べるような大きなイベントがしてみたい。

**小西** 関空に近い地の利を生かして、観光資源を積極的に開発したい。高齢者福祉や地域医療の充実、子育てしやすいまちづくりを実現してみたい。

**左近** 相対的貧困と言われるような子どもへのサポートを充実させたい。また、若者世帯・高齢者・子どもが住みやすいとともに、若者世帯が遊びに行きたいと思ってもらえるようなまちづくりをしたい。

**谷** 本市には関空があるので、航空会社と手を結び、海外や日本各地から多くの観光客が来てもらえるような政策をやってみたい。

泉佐野市に関して分からないことや  
疑問に思っていることについて

**田中** 現在、コロナ禍で海外の人が少なくなってきた。今後具体的にどのように展開していくのか。

**市長** 新型コロナウイルス感染症の影響で、関空や市内の宿泊施設が大打撃を受けましたが、海外からの留学生、技能実習生の滞在なども含めて少しずつ動きが出てきました。これから東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスターズゲームズ、2025



谷 直道



左近 葵



小西 杏奈



田中 亮



村井 昂輝

年の大阪・関西万博と国際イベントが続きますが、本市では聖火リレーやホストタウン事業などの準備を進めています。

**小西** 生活保護などを受けている人に対してどんなサポート・支援が行われているのか。

**市長** 国の基準に基づいた生活保護の支援策を実施するとともに、就労支援なども行っています。また生活困窮者の人たちにも自立して働けるような支援策、そして社会に順応できるような支援策も実施しています。

**左近** 若者が就職活動で東京・都市部に行ってしまうなど、本市が若者離れしないための取組について伺いたい。暮らしやすく活動しやすい「丸い社会」が理想だが、本市で一生暮らしていけるような取組はあるのか。

**市長** 若い世代が住み続けたいまちづくりは大きな課題であります。本市では出産から子育てまで切れ目のないサービスを行っており、不妊・不育治療への助成、現在は幼稚園、こども園、小・中学校の給食無料化なども実施しています。また、総合住宅助成制度を設けて本市への定住を促進しているほか、企業誘致を図って雇用の創出にも取り組んでいます。

**谷** 本市には様々な施設が充実しているが、その中でもPRポイントは何か。

**市長** りんくうタウンには地域の中核病院であるりんくう総合医療センターがあります。また、近年は学校教育施設の充実にも力を入れており、災害時に避難所となる各小中学校の体育館にクーラーを設置したり、学校プールに浄化槽を付けて災害時に飲料水としても活用できるようにしたりしています。

**村井** 3年前「まちづくり政策コンテスト」に参加したが、その時に優勝したプロジェクト





クトなどを政策に反映しているのか。また、2020年から小・中学校の学習指導要領が改定されたが、学校の現状はどうか。

**市長** 優勝した政策提案は「ご当地ソフトウェアづくり」で、実用化に向けて取り組んでいましたが、様々な面でハードルが高く、「スイーツづくり」にシフトしたと聞いています。実現するのを楽しみにしています。

**教育長** 英語が5・6年生で教科化された学習指導要領ですが、コロナ禍で3月2日から全国一斉休校したため、始まったのは6月中旬からです。実施に向けて周知徹底しています。またIGAスクール構想では、最新技術のICTを利用し、子どもたちが1人1台の端末を持って学習することで、主体的、対話的で深い学びを実現していきます。

市長にやってもらいたいことは何ですか？

**小西** 若者も住みやすいようにするため、医療費だけでなく様々な支援をお願いしたい。

**教育長** 若い世代への支援策として代表的なものに奨学金制度があります。奨学金は高校、大学、専門学校などで利用していただけます。昨年度から新たに、高校の入学準備金として1人10万円を支給する制度を設けました。学びの公平性を保つために実施しています。

**左近** PR動画を制作中であると聞いたが、プロモーションを通じ、若者が本市に来たくなるようなイメージづくりをお願いしたい。

**市長** 関空が開港して26年が経ちました。関空の対岸エリアのりんくうタウンでは、アウトレットの増築があり、さらに賑わいが出てきました。また関空アイスアリーナは、ナショナルトレーニングセンターにも選定され、次世代を担うアスリートの練習場にもなっています。本市に若者が集うまちづくりにも、今後も積極的に取り組んでいきます。

**谷** 日本の文化や大阪の文化を取り入れた大きな自然公園で、外国人に楽しんでもらいたい。市民の健康増進、リラクセスできる環境を作ることによって、さらに住みやすい市に近づけるのではないかと。

**市長** 上之郷には自然が豊かな泉佐野丘陵緑地があります。今後は、その周辺を整備して、より魅力あるエリアとしてまいります。

**村井** 今後もふるさと納税など、収入を増やす取組をお願いしたい。

**市長** 最高裁判所での勝訴で、ふるさと納税制度に復帰しました。そして市内で新しい地場産品をつくる事業を始める企業に対し、ふるさと納税を活用した補助金制度も新たに創設しました。新しい地場産品が増えることを期待しています。

**田中** アウトレットなどのショッピングセンターもあるが、他の市町村から本市に来るようなレジャー施設があまりないので作ってほしい。

**市長** 民間のアイデアを活用して、調査などを行い、そのような施設の誘致もこれから計画したいと思っています。

### 教育長の言葉

今回は、コロナ禍のため5人の参加となりました。しかし、みなさんのご意見、本市への提言もいただき、大変心強く、頼もしく感じました。また、市長の人柄にもふれていただき、困難に立ち向かい、市民のために貢献されていく姿勢も感じていただけたかと思えます。このつどいを機に、泉佐野市にますます関心を持ち、誇りをい দিয়ে、将来に向かって羽ばたいていかれることを願っています。今日は、ありがとうございました。



奥 真弥 教育長

### 市長の言葉

新成人とのつどいは、毎回鋭い質問があり、私にとりまして緊張する時間です。しかし若い人たちの意見をじっくり聞くこともできる機会なので、有意義な時間でもあります。今年の新成人からは「パイロット」「学校の先生」「丸い社会づくり」など将来に対する夢を語っていただきました。これからその夢に向かってしっかりと歩みを進めてもらいたいと願います。



千代松 大耕 市長

### さのテレ! でも放送されます

「新成人のつどい」のようすは、1月前半に行政情報番組「さのテレ!」でも放送されますので、ぜひご覧ください。(放送日時は裏表紙を参照)

問合先 自治振興課

※さのテレ! ホームページ (<http://www.city.izumisano.lg.jp/sanotele/>) からご覧いただけます。

QRコード▶



### 20歳を迎えるみなさんへ

問合先 国保年金課

誰もがいつかは年をとり、退職などにより収入がなくなったり、減ったりします。そんな時、老後の生活を支えてくれるのが年金です。また、年金は老後のためだけではなく、ケガや病気で身体に障害が残るような状態になった場合や、加入者が亡くなり、遺族(妻・子)が残されたときにも、生活を支えてくれます。会社などに勤務し、厚生年金保険や共済組合に加入している人以外は、20歳になれば国民年金に加入することになりますので、国保年金課で加入手続きをしてください。経済的な理由などで保険料の納付が困難な場合は「申請免除」や「納付猶予」、学生のみなさんには「学生納付特例」という制度もありますので相談してください。